

平成25年 3月18日
東北地方整備局

入札監視委員会第二部会第4回定例会議（3月8日） の審議概要について

～抽出案件6件を審議、意見の具申・勧告はなし～

平成24年度東北地方整備局入札監視委員会第二部会第4回定例会議が、
3月8日（金）、東北地方整備局で開催されましたので、その審議概要（別紙）
についてお知らせします。

議事では、委員により抽出された案件6件の審議が行われ、委員からの意見の
具申・勧告事項はありませんでした。

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局

仙台市青葉区花京院一丁目1番20号

TEL (022)716-0013（ダイヤルイン）

契約管理官

さとう ゆたか
佐藤 豊（内線6221）

経理調達課課長補佐

すずき しげかつ
鈴木 重勝（内線6554）

東北地方整備局 入札監視委員会（第二部会）定例会議 審議概要

開催日及び場所	平成25年 3月 8日（金） 東北地方整備局会議室		
委員	部会長 真野 明（東北大学災害科学国際研究所教授） 部会長代理 貝山 道博（山形大学人文学部教授） 委員 齊藤 幸治（弁護士）		
審議対象期間	平成24年10月 1日～平成24年12月31日		
総審議案件	6件	〈備考〉 (1) 報告事項 （「平成24年度東北地方整備局コンプライアンス推進計画」の説明） (2) 工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等の発注状況 (3) 指名停止措置の運用状況 (4) 談合情報等の対応状況及び談合疑義事実の該当事案 (5) 再度入札における一位不動状況 (6) 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況について報告を行った。	
工 事	一般競争（WTO対象）		1件
	一般競争（WTO対象外）		2件
	工事希望型競争		0件
	工事希望型以外の 指名競争入札		0件
	随意契約		0件
	建設コンサルタント業務等		2件
役務の提供等及び 物品の製造等	1件		
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回 答	
	別紙のとおり	別紙のとおり	
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	本日の審議結果について、意見の具申又は勧告事項はありません。		

東北地方整備局 入札監視委員会（第二部会）定例会議

審 議 案 件 工 事 概 要 書

	入札・契約方式	工 事 名	工事種別	契約金額 (単位：千円)	競争参加資格を 確認した者の数	入札参加者数
1	一般競争 (WTO対象)	相馬港本港地区防波堤（沖）（災害復旧） 築造工事（その2）	港湾土木工事	1,988,700	4者	4者
2	一般競争 (WTO対象外)	八戸港八太郎地区防波堤（北）（災害復旧） 被覆外工事（その4）	港湾土木工事	493,500	2者	2者
3	一般競争 (WTO対象外)	酒田港北港地区防波堤（北）（改良） 外被覆及び根固工事	港湾土木工事	86,205	15者	9者

審 議 案 件 建 設 コ ン サ ル タ ン ト 業 務 等 概 要 書

	入札・契約方式	業 務 名	業務区分	契約金額 (単位：千円)	手続きへの参加資格 及び業務実施上の 条件を満たす参加 表明書の提出者数	入札参加者数
4	簡易公募型競争	八戸港国有港湾施設維持管理計画策定業務	建設コンサルタント等	4,935	8者	8者

	入札・契約方式	業 務 名	業務区分	契約金額 (単位：千円)	手続きへの参加資格 及び業務実施上の 条件を満たす参加 表明書の提出者数	技術提案書の 提出業者数
5	簡易公募型プロポーザル	東日本大震災を踏まえたGPS波浪計観測 情報の活用支援方策検討業務	建設コンサルタント等	56,910	1者	1者

審 議 案 件 役 務 の 提 供 等 及 び 物 品 の 製 造 等 概 要 書

	入札・契約方式	業 務 名	業務分類	契約金額 (単位：千円)	競争参加資格を 確認した者の数	入札参加者数
6	一般競争	秋田港海象計ケーブル購入	物品の販売	22,680	2者	1者

	意見・質問	回 答
1-1	定例報告 「報告事項」 「平成24年度東北地方整備局コンプライアンス 推進計画」の説明 ・ 特になし	
1-2	定例報告 「対象期間における発注案件について」 ・ 特になし	
1-3	定例報告 「指名停止措置の運用状況」 ・ 落札後に入札金額を誤ったとして契約辞退届を 提出したとあるが、どのような誤りなのか。 ・ 一桁少なく書いたということであれば、落札決 定前の低入札価格調査の段階で判ったのではない のか。	・ 入札金額を一桁少ない金額で行ったとのこと です。 ・ 低入札価格調査は予定価格が1,000万円を超えるも のが対象ですが、本件はそれ以下であることから、調査 対象外です。
1-4	定例報告 「談合情報等の対応状況及び談合疑義事実の該当 事案」 ・ 特になし	
1-5	定例報告 「工事種別ごとの再度入札における一位不動状 況」 ・ 特になし	
1-6	定例報告 「工事種別ごとの低入札価格調査制度調査対象工 事の発生状況」 ・ 特になし	
2-1	審議 「相馬港本港地区防波堤(沖)(災害復旧)築造工事 (その2)」 ・ 加算点に差がでなかった理由は何故か。 ・ 入札価格が最低の者と次順位の者の開差が大き いように見えるが、それは何故か。	・ 「新設ケーソン据付において配慮すべき事項」を加算 点に係る施工計画として設定していたところですが、全 応札者ともに新設ケーソンの据付実績が豊富で施工方法 に熟知していることから、提案内容に差がでなかったも のと思われま す。 ・ 工事費内訳書で確認したところ、防波堤ケーソンの上 部・蓋コンクリートの撤去工の差によるものです。当該 工種は、実績が少ないため、見積もりに差が出たもの と思われま す。

	意見・質問	回 答
2-2	<p>審議 「八戸港八太郎地区防波堤（北）（災害復旧）被覆外工事（その４）」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落札率が高いのは何故か。 ・この工事は（その４）であり、同様のものがこの前に３件あると思うが、入札参加しているのは本件と同様に地元業者か。 ・地元以外からの参加者がなく、応札者が少ない結果となっているが、それは地元であれば有利な点があるということなのか。 ・一つの防波堤に複数の種類のブロックを使うのは何故か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・復旧・復興工事の増加に伴うブロック型枠の不足に加え、新規ブロックを採用したため、入札額を高め設定したのではないかと推測しております。 ・はい。 ・起重機船など作業船を使用する場合は在港船舶の使用を想定しており回航費は計上しません。このため、地元以外の者が工事をする場合は、作業船の回航費が発生するため、地元により有利になります。 ・「粘り強い構造」の防波堤とするために、使用する場所によって変えています。模型実験によりブロックの種類を決定しました。
2-3	<p>審議 「酒田港北港地区防波堤（北）（改良）外被覆及び根固工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無効が１者、辞退者が４者いるが理由は何故か。 ・加算点にバラツキが見られるが理由は何か。 ・次回から、加算点の評価結果に関する資料も用意してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・無効の１者は工事費内訳書に不備があったためです。辞退の４者は落札決定後にヒアリングしたところ、他工事の受注や応札のため配置予定技術者の配置ができなくなったためとのことでした。 ・同種工事での実績、工事成績評定点、手持ち工事量、配置予定技術者の施工経験、社会貢献等の多種にわたる項目で評価した結果です。 ・分かりました。
2-4	<p>審議 「八戸港国有港湾施設維持管理管理計画策定業務」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落札価格が低かった理由は何か。 ・成果物の品質は確保されるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・落札決定後に受注者にヒアリングしたところ、受注意欲が極めて高く、諸経費の軽減をはかった結果と聞いております。 ・予定価格が１,０００万円以下であっても、調査基準価格と同様に算出した価格を下回った場合、第三者照査を行います。本件もこれが適用されることから、品質は確保されるものと考えています。
2-5	<p>審議 「東日本大震災を踏まえたGPS波浪計観測情報の活用支援方策検討業務」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札参加者が１者であった理由は何か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本業務は既存システムの機能強化を図る業務です。当該業務に、新規参入するためには現行システムの把握から始める必要があったことから、既存システムの作成者以外は敬遠したのではないかと推測しています。
2-6	<p>審議 「秋田港海象計ケーブル購入」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・辞退者がいるが辞退した理由は何か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・落札決定後に辞退者にヒアリングしたところ、納期までの履行が困難であると判断したためと聞いております。